学校番号	３０２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単　位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新 文学国語」（三省堂）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・現代の様々な文章を「読む能力」に加え、自己の思考を表現するための「話す聞く能力」や、「書く能力」の基礎的な部分を身に付けます。
・授業ノートは、黒板を写すだけではなく、自分で気づいたことや、他者の発言内容もメモしていきましょう。
・家庭学習の課題は、定期的に提出してもらいます。
・定期考査は、年に５回あります。計画的に学習に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	発想と感覚 文学の言葉を感じ取る ［教材］ 「二十億光年の孤独」 「虹の雌雄」	ａ：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ｂ[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ｃ：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	みんなでつなぐリレー小説 ［教材］ 「冒頭書き出し例集」	ａ：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ｂ[書]：読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 ｃ：人間、社会、自然などに	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

		対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めたり、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察したりすることに向け た粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。			
	人間の姿と心 心情の表現に読みひたる ［教材］ 「山月記」 「デューク」	ａ:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ｂ[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ｃ:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	作品の挑戦 作家のストラテジーを読み解く ［教材］ 「少年という名前のメカ」 「バースデイ・ガール」	ａ:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ｂ[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ｃ:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使ったり、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色につい	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

		て評価することを通して、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。			
2	想像からの語り ［教材］ 「未知へ」 「夕焼け」 「売炭翁」	ａ：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ｂ[読]：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 ｃ：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を 収集、整理して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	表現の意味を捉え直す ［教材］ 「こころ」	ａ：文学的な文章やそれに関する文章の種 類や特徴などについて理解を深めている。 ｂ[読]：作品に表れているものの見方、 感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ｃ：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しよ	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

		うとしている。			
	近代の文章に価値を見いだす ［教材］ 「永訣の朝」 「たけくらべ」	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b［ 読 ］：他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
3	歴史の語り方について考える ［教材］ 「項羽と劉邦―『史記』を読む」 「花山天皇の退位―『大鏡』を読む」	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b［ 読 ］：作品に表れているものの見方、 感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b［　］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　１５　）時間
・読むこと　…　（　５５　）時間